

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (四国)	良くなる	一般小売店〔乾物〕 (店員)	・アベノミクス効果に期待している。
	やや良くなる	商店街(代表者)	・大都市経済の活況が地方経済にメンタル的な影響を及ぼしてくれと期待している。
		商店街(事務局長)	・大手企業の好成績や株高の恩恵を受けている消費者はまだ一部であるが、2、3か月後には経済効果の裾野が更に広がっていると考えられる。
		一般小売店〔生花〕 (経営者)	・個人経営の小規模店の開店が多い。若い世代向けの新しい店舗が増えて、人の流れができることを期待している。
		百貨店(総務担当)	・宝飾品や美術品、夏物婦人衣料の売上推移より今後も前年比プラスが見込まれる。
		百貨店(営業担当)	・高額品が少しずつ動いており、やや良くなると予想する。
		百貨店(販売促進担当)	・消費税増税前の駆け込み需要により高額商品の動きが良くなっていく。また、ボーナス時期に入ると、購入金額・購入数の増加が見込まれる。
		百貨店(営業推進)	・アベノミクス等の効果で景気は上昇してくるが、食料品等の日用品の売上増はないと思う。ただ、宝石類等の動きが良くなってきている。
		コンビニ(店長)	・来客数が減少しているため売上は増えていないが、客単価が上昇しており、好景気につながって行くと感じている。
		コンビニ(商品担当)	・高単価商品の問い合わせが多く、実際に売れ始めた。単価の面で期待できる。
		衣料品専門店(経営者)	・アベノミクス効果はまだ見えない。都会の百貨店では宝石等の高額商品が売れているという話を聞き、もうそろそろ地方でも伸びるのではないかと期待をしている。
		家電量販店(店員)	・販売量の増加に加えて、来客数も増加していると感じられる。今後の購入予定等を話される事が多くなってきた。
		住関連専門店(経営者)	・都会には円安と株高の恩恵があると思うが、地方は影響が少ないと思う。ムード的には今よりやや良くなると思う。
		その他専門店〔酒〕 (経営者)	・夏に向け、飲み物の売行きが伸び、少しずつ売上は増加している。
		観光型旅館(経営者)	・アベノミクス効果で海外旅行を控えて国内旅行をしようという動きが出ている。旅行を控えていた人が、もう一度日本の良さを見直して旅行をしたり、家族のお祝い旅行が割合増えてきている。国民の旅行やレジャー消費に対する考え方が少し変わってきていると感じる。
		通信会社(企画)	・現状のまま続けば、少し良くなると思われる。
		通信会社(支店長)	・夏のボーナス期や新商品発売等が控えているため、やや良くなると予想する。
		観光名所(職員)	・円安の影響で、海外旅行から国内旅行への切替えが期待できる。
		設計事務所(所長)	・中小企業が、少しずつであるが設備投資を始めている。
		変わらない	商店街(代表者)
一般小売店〔酒類〕 (経営者)	・中央では景気回復の兆しが見えてきているように聞くが、当市では実感が全然ない。ただ、公共事業が少し増えてきていると聞くので、これで底打つかと少し期待まじりに思う。		
一般小売店〔酒〕(販売担当)	・マスコミではアベノミクス効果で景気回復と報じているが、地方では全く感じられない。家計に余裕のない生活が続くと思われる。		
一般小売店〔菓子〕 (総務担当)	・平日の消費は、引き続き厳しい。		
スーパー(店長)	・景気回復を実感できるのはまだ先だろうと思う。		
スーパー(店長)	・夏商戦において、今以上に景気を持ち上げる要素が見当たらない。		
スーパー(企画担当)	・まだ収入増には向かっていないので、食費を増やすことは望めない。		
スーパー(企画担当)	・円安・株高が賃金へ波及するには、まだ時間が必要だと考える。将来への不安感は強く、新しい成長を感じるまでは、消費動向が緩むことはない。		
コンビニ(総務)	・地方では、回復基調の手ごたえがなく景気が良くなるとはいえない。		
衣料品専門店(総務担当)	・顧客心理は改善してきているが、現状ではメインの客層の収入は増えておらず、良くなるには時間がかかる。		
乗用車販売店(従業員)	・販売台数は前年並み。しばらくは、良くなる要素も悪くなる要素も見当たらない。		

	乗用車販売店（従業員）	・ 新型車の発売も当分の間なく、良いニュースがない。消費税増税による駆け込み需要までまだ時間があることもあり、来場者数が減少気味である。	
	乗用車販売店（従業員）	・ ガソリン価格が高止まっているので、ハイブリッド車以外の車も売れてはいるが、新車販売総台数は前年の8～9割程度である。	
	乗用車販売店（営業担当）	・ 来客数が減少している中、動向を見る限り良くなる要素は全く見られない。	
	乗用車販売店（役員）	・ 新車登録は前年並みを維持しているが、5～6月は前年を割る状況になるのではないかと危惧をしている。	
	その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・ 買物の姿勢に慎重さが目立つようになった。	
	スナック（経営者）	・ 例年低迷時期であり、回復に期待しているが、変わらないと思う。	
	都市型ホテル（経営者）	・ 予約状況はあまり変わっていないので、景気はそれほど良くなっていないと思う。	
	旅行代理店（支店長）	・ 景気回復への期待感で旅行需要の拡大を大いに期待しているが、今後の為替の動き（円安傾向）や新型インフルエンザなどの不安材料があり先が見えない。	
	タクシー運転手	・ 県外客の2割は徐々に景気が良くなったと聞く。しかし、県内では、重油価格が上昇したことから農業・水産関係者が街に来る頻度が少なくなっている。建設業界も談合問題の影響で地元企業が潤っていないため変わらないと予想する。	
	ゴルフ場（従業員）	・ 少しずつ景気が良くなっていく雰囲気ではあるが、状況としてはまだ変化がない。	
	競艇場（職員）	・ 今後の売上増加については、新しい客を獲得できるかにかかっている。有力選手の斡旋、地元選手の活躍、大きなレースの開催、客が来やすい環境整備等に努める。	
	住宅販売会社（従業員）	・ 具体的な商談件数は増えているが、予算を抑えている客が多い。	
	やや悪くなる	スーパー（統括担当）	・ 景気が良くなっているようにみえるが、実体的なことが分からず不安になってくる。
		衣料品専門店（経営者）	・ 賃金上昇もなく、電気料金値上げ、原油高騰など円安のデメリットしかない。
		タクシー運転手	・ 街中のタクシーの乗車率が、この先良くなると思えない。夏場は、お遍路の仕事もなくなって、売上が落ちる。
		美容室（経営者）	・ 物価上昇により節約傾向が見られる。
	悪くなる		
企業 動向 関連 (四国)	良くなる	食料品製造業（商品統括）	・ 自民党政権の対外的な安定感（特に中国・韓国に対する毅然とした態度）や経済政策への安心感が形成されつつある。
		繊維工業（経営者）	・ 夏に向かって、タオルの消費は増加する。小売店も積極的な売場の拡充を図っており、特に手ぬぐいタオルを販売する店では、ゆるキャラブームが続いている。その他の商品も好調に推移すると聞いている。
		木材木製品製造業（経営者）	・ 住宅着工件数は全国で93万戸から94万戸、年間では、前年比5～7%増と予想されている。本当に景気が良くなってくるのは7月ごろだと思う。
	やや良くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・ 太陽光発電は非常に好調であったが、買取価格が10%値下げになった影響で、受注がやや減少した。景気は良いが、採算面が少し落ちたという感じがしている。
	通信業（部長）	・ 景気を左右する大きな不安要素が見受けられない。	
	金融業（融資担当）	・ 高額商品の売上は増加しているが、円安で業績が悪化する取引先もあり、やや改善する程度だと予想している。	
	不動産業（経営者）	・ 今年に入り、客の動き、住宅の契約等が良くなっている。ただ、懸念材料は、建築資材価格がやや上昇気味で、これからも上昇することが予測される。	
	公認会計士	・ 4月以降、飲食店への客の入りが増えているようで、前年比15%増という飲食店もある。アベノミクス効果かもしれないが、景気はやや上向いているのではないかと。	
	変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・ 値上げを打診しているが、今後の交渉にかかっている。値上げが通れば、採算に合うところまで持って行けると思うが、かなり難しいと思う。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・ 円安、株高による高揚感が出てきているが、期待先行の動きであり、急激な反動が出てきそうである。
		建設業（経営者）	・ 上半期の事業規模次第であるが、例年、この時期の事業増は望めない。
		建設業（経営者）	・ これから2、3か月では、ほとんど変わらないと思う。
		建設業（総務担当）	・ 良くなるとは思えない。景気回復の期待感はあるが、受注価格に反映するには時間がかかる。
		輸送業（経営者）	・ なかなか厳しいが、明るい兆しも感じている。

	広告代理店（経営者）	・地元資本の得意先は規模が縮小しており、広告費予算は徐々に削減されている状況に変わりはないが、一部の得意先では、円安・株高による期待感から積極的に展開する計画もあり多少広告費増加が予想される。
やや悪くなる	電気機械器具製造業（経理担当）	・米国市場の動向により、価格引下げが予想される。市場動向の見極めと事業戦略の見直しが必要になっており、この先、数か月は販売が落ち込むと見込んでいる。
	輸送業（支店長）	・公共事業の減少、荷主による生産調整が行われている。また、燃料単価が昨年より若干上昇していることからコストアップが予想される。
悪くなる	-	-
良くなる	-	-
やや良くなる	人材派遣会社（営業）	・夏季賞与の影響で多少は景気が回復するのではと考える。消費税引上げに向けて、今年度の消費動向は例年とは違った現象が予想され、求人状況も多少増えてくることが期待される。
	求人情報誌製作会社（従業員）	・例年、ゴールデンウィーク明けに求人数が増えるため。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・消費税増税前の駆け込み需要が出てくる。しかし、何もかもが値上がりしてきているので局地的なものにとどまるのではないかと。
	職業安定所（職員）	・依然として厳しさは残るものの、2か月連続で管内新規求人が増加しており、このところ改善の動きがみられる。
変わらない	人材派遣会社（営業担当）	・株高や円安は輸出産業の好機となる。しかし、当地域への波及には相応の時間を要するものと考えられる。
	求人情報誌（営業）	・最近では地元中小企業でも、中途求人数が増えるなど、景気が上向いてきた感はあるが、その後、地元企業に大きなプラスとなるトピックは少なく、数か月先は現状と変わらない。
	職業安定所（職員）	・有効求人倍率は好調な数字で推移しているものの、求人条件では変化がない。
	職業安定所（職員）	・有効求人倍率は、先月より0.03ポイント低下したが、前年同月比では0.15ポイント上昇している。
	民間職業紹介機関（所長）	・業種間の格差はあるものの、特に調子が上向いている業種はあまり無い。ただし、建設業については、戸建の数が前年度より増えている。
	学校〔大学〕（就職担当）	・6月に大きな説明会もあり、夏までは活発な採用活動が展開されると考えられる。
やや悪くなる	人材派遣会社（営業担当）	・土木関係では景気が上向いている話を聞くが、製造業の求人が少なくなっており、不安を感じる。
悪くなる	-	-